

平成29年度 奨学後援会春季役員会資料

# 学 校 の 概 況

平成30年3月3日

広島商船高等専門学校

## 目 次

学校の現況（校長 辻 啓介）	1
学生教育（教務主事 瀧口 三千弘）	2
1. SHRについて	
2. 教室英語（Classroom English）について	
3. 留年者と退学者について	
学生支援（学生主事 梶原 和範）	3
1. 就学支援	
2. 学生会活動支援	
3. 課外活動支援	
4. 交通安全指導	
学寮生活（寮務主事 岡山 正人）	4
1. 寮生数と再入寮制度について	
2. 寮生の現状	
3. 新しい当直体制	
4. 寮の食費の改正について	
5. 今後の課題	
広報活動（広報主事 澤田 大吾）	5
1. 平成29年度の主な取組	
2. 入学生の状況、情報の共有	
3. 今年度の取組	
進路指導—商船学科—（商船学科就職担当 小林 豪、濱田 朋起）	6
1. 進路の概況	
2. 近年の求人・求職傾向	
3. 進路指導	
進路指導—電子制御工学科—（電子制御工学科 就職担当 吉田 哲哉）	7
1. 進路の概況	
2. 進路状況	
進路指導—流通情報工学科—（流通情報工学科進路指導担当 田上 敦士）	8
1. 進路指導（学科の取り組み）	
2. 進路の概況	

## 学校の現況

校長 辻 啓介

保護者の皆様には、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を頂き、厚く御礼を申し上げます。

さて、今年2018年は、明治改元150周年にあたります。我が国の歴史上、重要な出来事からの節目の年に、本校は創立120目を迎えております。すなわち、明治31年5月に豊田郡東野村外12か町村組合立芸陽海員学校として大崎上島の地に生まれた本校は、120歳を迎える年です。10月には、創立120周年記念の式典を、校友会とともに計画し、準備を始めております。

夏に、図書館棟の改修工事が終了し、図書館と視聴覚教室の階を入れ替えました。地域住民の方々に図書館を開放していましたが、1階にすることで、より多くの方々に図書館を訪れて頂く利便性を考慮したものです。また、2階の視聴覚教室は保護者会などの各種行事にも対応できるように面積を広げ、収容できる定員を多くしたものです。今後、大いに利用していきたいと考えております。

今年度も学生たちが素晴らしい活躍をしてくれました。その中で特記すべきことは、キャンパスベンチャーグランプリ中国大会において、テクノロジー部門の最優秀賞と優秀賞をダブル受賞したことです。これは、大学や高専などの学生がビジネスプランを競うコンテストで中国大会では中国地方の111件の中から選ばれました。最優秀賞の「メロディー☆アート」は「一人ひとりが芸術家」をコンセプトに、ブロックを用いた直感操作で楽しく簡単に音楽の作曲や絵の創作ができるデバイスです。対象者は、子供や高齢者と幅広く、幼少期の子供に対しては音楽を通して、想像力や集中力、発想力など多くの能力を伸ばし、高齢者に対しては認知症の予防が期待されるデバイスです。中国地区代表として全国大会に参加します。

大崎上島町商工会のプロジェクトでは、大崎上島町の目指す「学びの島」を大崎海星高校の生徒と連携して調査研究をしております。そこで得たものとして、「学び」とは専門教育だけでなく、この島でなければ学べないことは何かを考えているようです。内容はともかくとして、高校と高専の学校間連携の新しい形を模索しています。このような地域との連携は、地域に根ざした高専となるため大事なことです。その他の分野においても、地域との連携を広げたいと思います。

現在の高専教育は、知識・技術の確実な修得に重点を置いた教育から、社会課題の解決能力の育成に重点を置く教育へ変わろうとしています。知識・経験だけでなく、全く新たな視点から何かを作り出す発想能力が必要となります。このような課題解決能力を育成するために「自ら学ぶ」能力が求められています。

その他本校の持つ課題は多くありますが、社会的人口減少の中、我国の将来を担う学生を育て、日本の未来社会ーグローバル化と地方創生ーに対応できる課題解決能力を有する人材育成に努めています。より高い成果が得られるように学校として努力しております。学生が立派に成長できますようご協力とご支援を重ねてお願い申し上げます。

# 学生教育

教務主事 瀧口 三千弘

## 1. SHRについて

本校にはこれまで火曜の7時間目にLHRというものがありました。朝のSHRはありませんでした。今年度から、朝8:35から8:50(教室移動等もありますので、実際は8:45頃まで)をSHRとしました。遅刻・欠席の防止、伝達事項を含めて担任とのコミュニケーションの場として、さらには短くてもいいので英語の勉強の時間になればと思っております。

## 2. 教室英語 (Classroom English) について

英語教育の充実ということで、ここ数年間、各科目において全教員1年に1回は英語で授業をする、試験問題に必ず1問は英語を使った問題を出題するという取組みを行ってまいりました。しかし、なかなかその効果が見られないことから、今年度より新たに教室英語という取組みを開始しました。具体的には、教員用と学生用の教室英語(各50フレーズ)を作成し、学生と教員の全員に配布し、全ての授業でできるだけ毎時間英語を何フレーズでもいいので使おうという取組みです。英語で質問し、英語で答えるといった堅苦しいものではなく、場面に応じた表現に学生も教員も慣れるための取組みとお考えください。まだまだ十分な成果が出ているとは思えませんが、学生は「Excuse me. Can(May) I go to the restroom?」は言えるようになったと言って笑わせてくれます。

## 3. 留年者と退学者について

図1に、ここ約10年間の留年率と退学率の推移を示します。この図からわかりますように、ここ数年間、留年率・退学率共に減少傾向にありましたが、今年度は留年率3.26%と、ここ数年間で最も高い年となってしまいました。参考までに、図2に今年度の学科・学年別の留年者数を示します。1年生に3人、2年生に6人、3年生に10人、さらに4年生に3人、合計で22人の学生が進級できなかったということです。これまで同様に成績不振者対策として補習や再試験、さらには課題やノート提出等を行わせながらの結果ということで、今後さらなる取組みの強化が必要と感じております。

遅刻や欠席の多い学生、課題を出さない、ノートをしっかり取らない等の学生もおります。注意しても授業を聞かない学生もおります。学校としましては、授業の改善はもちろんのこと、担任・学生指導関係・寮・学生相談室等とさらなる連携をとりながら学生支援を行いますので、保護者の皆様におかれましては引き続きご協力の程よろしくお願いたします。

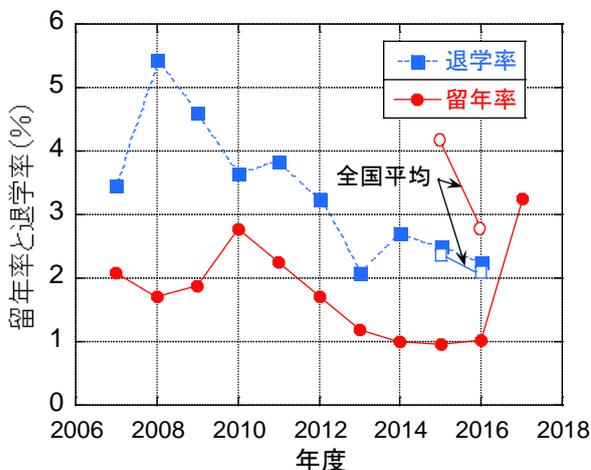


図1 留年率と退学率の推移

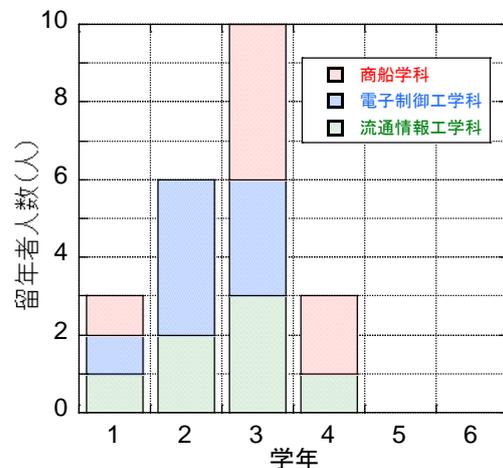


図2 留年者数 (2017年度)

# 学生支援

学生主事 梶原 和範

## 1. 就学支援

本校では、入学金や授業料の免除、各種奨学金の案内や手続き等について、各教室や1階エレベーター横の掲示板に張り出すとともに電子掲示板で学生たちに案内しています。申請等手続きが必要な場合は、掲示されましたら学生係へ行き必要な書類等を受け取り、記入の上期限内に提出するようにお願いいたします（学生係：0846-67-3023）。

なお、1年生から3年生までの学生に関しては就学支援金制度により授業料の支援を行っており、4年生以上の学生には授業料免除制度により29年度に91名の就学支援を行っています。

## 2. 学生会活動支援

学生たちの自治組織として、学生会があります。会長をはじめとする役員を中心として、商船祭やクラスマッチなどの学校行事に取り組んでいます。

学生会の最大の行事である商船祭には、プロのミュージシャンを招致するなど、学生のみならず来場者にも楽しんでいただけるイベントや展示を企画いたしました。29年度は悪天候の中で開催となりましたが、学生は不平を口にすることもなく、それぞれの役目を果たしていました。また、ご来場いただいた保護者の皆様にもお礼申し上げます。30年度も新学生会で色々の案を考えております。

## 3. 課外活動支援

学生たちの心身の健全な育成のために16の体育系のクラブ、同好会、12の文化系のクラブ、同好会が放課後を中心に活動しています。全国高専体育大会への卓球部などいくつかの体育系クラブが全国高専大会に出場しました。また3年生以下が参加する高体連の大会でも多くのクラブが地区予選を勝ち抜いて、県大会出場を果たしています。プログラミングコンテストでの活躍も継続的に受賞の榮譽を受けています。

## 4. 交通安全指導

朝の登校の際には、通学路に立ち学生たちの安全を守るため、交通安全指導をしています。特に並列運転や二人乗りをしないこと、一旦停止などの交通規則を守り、事故に遭わないように指導しています。自転車による雨天時の傘差し運転をしないよう、特に注意しています。これは視界を狭めるだけでなく、自動車等に引っかかりやすくなり、大変危険ですので、自転車で通学するお子さんには必ずカッパを着て登校するようにご家庭でもご指導をお願いします。

# 学寮生活

寮務主事 岡山 正人

## 1. 寮生数と再入寮制度について

新寮生、男子 99 名、女子 17 名の計 116 名の入寮にともなって、今年度の 4 月 1 日時点における寮生数は男子 406 名、女子 70 名と、寮の実質的な定員を上回る 476 名となりました。

このため、施設の老朽化に加え、洗濯室などの設備を含め、現在施設、設備などは慢性的な不足状態が続いています。なお、老朽化対策の一つとして今年度は女子寮の側壁の改修を行っています。

このような寮生の増加にともない、再入寮が不許可となる学生が増加しています。今年度は男子寮生の 4 年生から 9 名、3 年生から 3 名、計 12 名の再入寮不許可者(条件付きも含む)を出さざるを得ませんでした。

なお、女子寮は自主的に退寮した学生がいたため再入寮不許可者を出さないで済んだほか、2 月に入り進路変更等により男子寮生に退寮者が出たため、抽選により再入寮不許可になった学生のうち 5 名が寮に戻ってこられることになりました。

以上の結果、新年度の新入寮生のために男子 105 人、女子 20 人分の居室を確保することができました。

## 2. 寮生の現状

### (1) 規則違反

昨年度は 25 名を超す退寮処分者がありましたが、今年度も 10 名の退寮処分者を出してしまいました。処分理由のほとんどが喫煙または飲酒となっています。また、女子寮ではスマートフォンの盗難に続き、冷蔵庫のものがなくなるなど盗難が何度かありました。そのため、集会を開き注意喚起をするとともに、学生にも協力してもらい現在は落ち着いています。

さらに、今年度も昨年度同様に女子寮生に「門限違反」「外泊カード忘れ」が目立ちました。本人はもちろんですが、保護者の方にもご協力をいただきながら指導を進めております。

### (2) その他

年末および年始にインフルエンザにかかり自宅に帰省してもらった学生が続発しました。病院への搬送や保護者への説明等、寮への負担は大変なものでありました。インフルエンザなどの感染症への対応では、保護者の方のご協力が不可欠ですので今後ともご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 3. 新しい当直体制

従来から教員の当直回数の負担軽減が課題となっていました。本年度 6 月より女性教員にも当直に入ってもらえるようになりました。これに伴い、当直業務の内容が変更しました。現在までに大きな問題はないようですが、緊急時の対応などが課題となっています。

## 4. 寮の食費の改正について

寮の食費について 31 年度から月額 590 円の値上げを考えています(別紙参照)。

## 5. 今後の課題

日頃の寮生指導に加えて、今後の課題としては以下の点を中心に検討していく必要があると考えています。

- ①老朽化し、不足気味の設備・施設について
- ②寮事務室の負担軽減について

栄食メディックス(株)からの学寮給食費改定の要望について

**値上…学寮給食諸経費（約5%の値上）**

※ 食材料費用値上げなし

改定金額 月額 11,790 円を 12,380 円(590 円増)に改定

年額 5,900 円増

\* 9 月分. 3 月分を除く 10 ヶ月分徴収

内訳

	現在	値上希望額	増額
人件費	8,253	8,666	413
諸経費	2,358	2,476	118
光熱水費	1,179	1,238	59
合計	11,790	12,380	590

1 日当食費

	食材料費	諸経費	合計
朝食	194	104(4 円増)	298
昼食	248	134(7 円増)	382
夕食	325	175(9 円増)	500
日額	767	413(20 円増)	1,180(20 円増)

※ 平成 31 年度から値上予定

## 広報活動

広報主事 澤田 大吾

### 1. 平成 29 年度の主な取組

1 年間を通じて次のような主要な活動を行いました。

- ・ 4 月 大崎上島中学校の宿泊研修（本校若潮会館に宿泊）に協力
- ・ 7 月 中学校ロボコン（ぴよんた杯）運営協力
- ・ 7 月 5 商船高専合同説明会（広島、横浜、東京、神戸）に参加
- ・ 8 月 公開講座、全教員による中学校訪問。  
オープンスクール（第 1 回目）を 2 日間実施  
県内の中学校（235 校）を全教員による訪問
- ・ 9 月 県内中学校からの要望による出前授業や進路説明  
他高専との合同進学説明会を実施（東京・姫路・福岡）
- ・ 10 月 オープンスクール（第 2 回） 帆船フェスタ 2017（広島）に参加
- ・ 進学塾（田中学習会・明光義塾・ノーベル学習館など）の進学説明会参加

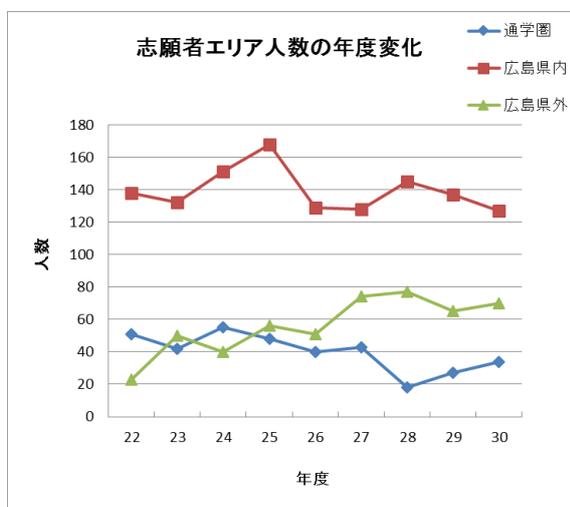
### 2. 入学生の状況、情報の共有

今年の志願者は 231 名(189 名)になり、昨年より微減となりました。今年度も 8 月のオープンスクールは混乱を避けるため 2 日間実施しました。1 回の実施としては最高数に近い来校者がありましたが、志願者激増には至りませんでした。平成 30 年度は夏のオープンスクールは 2 日間、10 月は 1 日間とする予定です。

最近の傾向としましては、商船学科の志願者増は全国 5 商船とも上がっていますが、非商船系は不安定な志願倍率になっています。これら非商船系の学科は独自の特徴を生かしレベルアップを目標にしていきます。

しかし、本当の広報とは「本校の学生が社会に役立つ人材として成長する」という実績を築くことが重要であると考えられます。学校全体が学生を支援できる体制が必要です。

また、今年の広報活動では学生主体の広報活動を全面に打ち出して行く予定です。2 度のオープンスクールでは本校の学生を生徒や保護者に見ていただくことにより、志願者増につながるような魅力ある学校にしていくことを考えています。



### 3. 今年度の取組

- (1) 中学校（中学校教諭）との連携強化
- (2) 教育コーディネータの配置(3 人体制から 2 人体制へ)
- (3) 本校主催の進学ガイダンスを広島で開催予定（6/23）
- (4) 県外での PR 活動強化

## 進路指導 — 商船学科 —

商船学科 就職担当 小林 豪、濱田 朋起

### 1. 進路の概況

図1に商船学科の過去5年間（平成25年度～平成29年度）の進路状況を示します。全体の傾向として、航海コース・機関コースともに平均すると約6割が海上職、2割が陸上職、残り2割が進学といった状況です。

平成30年9月に卒業予定学生の進路状況（内定状況）を、表1に示します。今年度は、7割以上の学生が船員としての海上就職予定となりました。そのうち、外航船員として内定を頂いている学生は14名です。

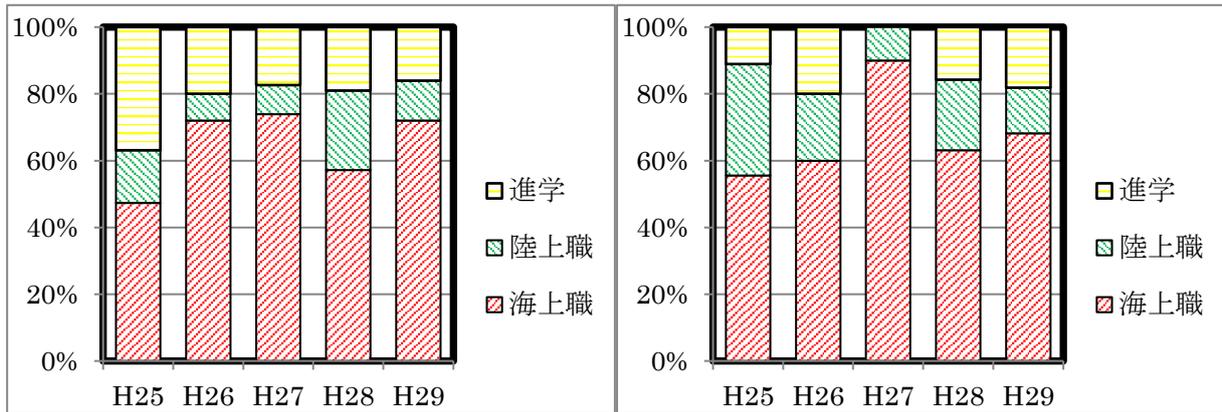


図1 過去5年間の進路状況（左：航海コース、右：機関コース）

表1 平成30年9月卒業予定学生の進路状況

航海コース（21名）	海上：18名	陸上：0名	進学：3名
機関コース（23名）	海上：15名	陸上：4名	進学：4名
商船学科（44名）	海上：75%	陸上：9%	進学：16%

### 2. 近年の求人・求職傾向

近年の求人は、外航船社ではもちろんですが内航船社においても2級海技士の筆記試験合格を入社条件としている会社も多いため、よりレベルの高い資質が求められています。

海上職・陸上職ともに、就職に際しては基礎基本の知識を有していることは当然のことながら、社会人としての責任感・協調性・社会性などのコミュニケーション能力が強く求められる傾向にあります。

海上職を目指す学生の場合、外航を志望する学生は毎年一定数おりますが、全体的には内航のような数ヶ月から数週間の短期航海の船員を希望する傾向が見られます。

### 3. 進路指導

(1) 低学年に対して：学科長や就職担当者がホームルームの時間を利用して、就職や進学を含めた進路についての指導（主として動機付け）を行っています。不定期ではありますが、造船所見学や本校練習船の寄港地での会社見学・港湾施設見学等も行い、船及び海事関連の仕事に対する理解を深める取組みも行っています。

(2) 高学年に対して：商船学科では担任と就職担当を中心に、本人の希望・適性・成績等を踏まえ、希望調査・個人面談等を行いながら進路を決定しています。平成27年度より、2年生終了時の春休みに1カ月、4年生後期に5カ月、海技教育機構（航海訓練所）での練習船実習が行われています。このことにより、新5年生は4月に帰校後すぐに就職活動が開始されます。4・5月には、多くの企業に来校して頂き、会社説明会を頻繁に実施し、学生の進路選択へ役立てています。

## 進路指導－電子制御工学科－

電子制御工学科 就職担当 吉田 哲哉

### 1. 進路の概況

今年度の求人状況は、求人企業数は458社、述べ求人数は530人と非常に恵まれた状況でした。今年度も学生達の努力の結果、卒業生43名のうち2名が進学し、41名が就職します。就職先の職種としては、エンジニアとして機械、電気、情報、制御等の専門的な技術の仕事に携わります。

### 2. 進路状況

#### (1) 就職

卒業生の就職先の業種は61%が製造業で、その職種は工場の生産ラインの設計や保守・管理などになります。また、約22%がサービス業で、エレベータやエスカレータ、空調設備、OA機器などのメンテナンスを行います。運輸・通信分野も約5%で、通信部門では携帯電話やネットワーク関連の仕事を行います。今年度は、22%の卒業生が県内の企業に就職し、中四国地区の企業に就職する学生を含めると34%の学生が、中四国地区で活躍します。表に卒業生の進路先を示しています。

#### (2) 進学

大学等への進学者の割合は5%で、進学先としては、豊橋技術科学大学と本校の専攻科です。

平成29年度卒業生の進路先(電子制御工学科)(H30.3.1現在)

	内定進路先	人数	内定進路先	人数
就職	JFE スチール西日本製鉄所	1	ユニチカ	1
	JR 西日本テクノス	1	出光興産	1
	KDDI エンジニアリング	1	大分キャノン	1
	NHK (広島放送局)	1	関西電力	1
	アイフォーコム	1	三興グループ	1
	エムティサービス東日本	1	中国電力	1
	キャノンメディカルシステムズ	2	中電工	1
	ジェイペック	2	東芝自動機器システムサービス	1
	シークス	1	長浜産業	1
	ダイキン工業	1	日本オーチス・エレベータ	1
	ディスコ	1	日立ビルシステム	2
	テクノプロ	1	富士ソフト	1
	ネクストウエア	1	古川製作所	1
	ヒロタニ	1	前川製作所	1
	ヒロテック	1	前田道路	1
	フジテック	1	三浦工業	1
	マツダ E&T	1	三菱電機ビルテクノサービス	2
	メタウォーター	1	三菱電機福山製作所	1
	メンバーズ	1		
進学	豊橋技術科学大学	1	広島商船高等専門学校専攻科	1

# 進路指導—流通情報工学科—

流通情報工学科 進路指導担当 田上 敦士

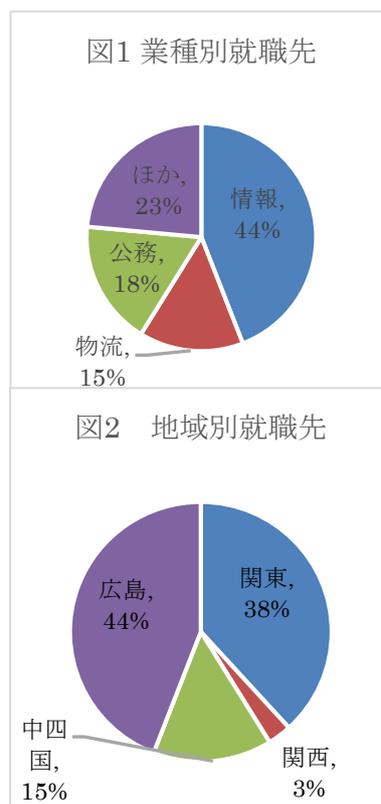
## 1. 進路指導（学科の取り組み）

5年学級担任が進路指導を担当し、学科全体で連携を取りながら指導にあたっています。

本年度の卒業生の従来の学生と大きく異なった点が、公務員志望者が多い点と学校への求人票が来ない企業に対して自ら自由枠で挑戦した学生の多さです。近年の採用試験では、基礎学力や一般常識に加えて、個人の性格（ストレス耐性やバイタリティ）が、従来にも増して注視されています。自ら道を開拓した学生が増えていることは、これらの観点からも望ましい傾向にあると考えられます。学生の支援のため、進路と学生とのミスマッチが起こらないよう個別対応に相当の時間を割いています。教員も企業の人事担当者や、通年にわたり企業訪問などを通して情報交換を行い連絡を密にすることにより、信頼関係の維持・構築に努めています。特に、平成25年度の学生よりコース制（流通・ビジネスコース、情報コース）を導入しているため、それぞれのコースの専門性に合った企業との連携に努めています。本年度の学生及び保護者の地元企業への就職ニーズは高く、地元志向のある学生を地元に着（地域貢献）させるため、また他地域で経験をつんだ学生を将来地元に戻りやすくするための2つの観点から地元企業との交流も深めています。就業意識を高める試みとして、1）低学年時からの就職講義の導入、2）4年生全員のインターンシップ参加、3）OB・OGによる講演会、4）職業適性試験・基礎能力試験の実施などの多岐に渡る就職支援プログラムを実施しています。また、公務員志望者の学生を応援し受験を突破する実力をつけるため、公務員講座を開催しています。本年度は8名が受講し、公務員採用試験には6名が合格し、その効果の高さを示しています。

## 2. 進路の概況

平成29年度の卒業生は、40名（男子22名、女子18名）です。この内、就職希望者は34名、進学希望者は6名となっています。就職先企業の業種の内訳については、図1に示すように、情報通信業が44%、公務員が18%、物流業が15%、そして卸売小売業、サービス業、製造業、金融が続きます。就職後の勤務地については、図2に示すように、公務員合格者が増えたこともあり、広島県内が44%と県内への就職が増えています。その他の地域には、東京都、関西圏などがあります。表1に主な就職先企業名を示します。本年度は公務員希望者が多く、地域志向が強い学年でした。東京圏などに本社が立地する企業でも、最初の数年の研修終了後には、広島県を中心とした中国地方などの西日本勤務が想定されている場合が増えています。進学者の内訳は本校専攻科産業システム工学専攻5名、広島文教女子大学1名です。



情報系	富士通、富士通マーケティング、NTTコムエンジニアリング、NTTフィールドテック、NTTロジスティクスソリューション、NECフィールドエンジニアリング、NEC初音アライ、KDDIエンジニアリング、CTCS、コベルコソフトウェアサービス、センソインフォメーションシステムズ、日立ソリューションズエンジニアリング、広島情報ソフトウェア、パイトルカ、キャノ S&S
公務員	広島県2名、大崎上島町、海上自衛隊、山口県警察、税務職員
物流	日立物流、山九、シモハナ物流、中国通運、東電物流
その他	広島市信用組合、トヨタカローラ広島、インデック、やまみ、徳島航空サービス、コーセー、クラブス、ITX

